

令和 2年度 事業実施計画

1. 防災施設・機材の充実（ハード事業）

(1) 各ブロック・町の消防活動機材を拡充する。

昨年は、12自治会に消火栓箱の設置を行ないました。本年度は8自治会へ消火栓箱設置計画します。（設置する自治会＝西阿倉川1・3区、松ヶ丘、東阿倉川1区、万古町、三ツ谷東区、末永町、野田町）

予算措置として各自治会から消火栓箱設置費3万円のご負担をお願いします。

(2) 防災倉庫の増設

山手中学校の校舎東に設置の危機管理室防災倉庫が手狭になっているので、新規に防災会専用の倉庫を南側に並べて設置する計画です。

2. 防災事務・地区実態のソフト事業充実

(1) 訓練の実施

ア. 新しく、消防機材が納品されることで、昨年並みに海蔵神社の境内をお借りして地区全体の選抜隊員で「消防ホース・消火栓取扱研修」を計画します。

イ. 防災カルテ図・およびカルテ（スライドショー）を全自治会が作成して3年目になりますが、これら資料を生かして、危険予知の伝達・タウンミーティング、並びに、消防ホース・消火栓箱取扱訓練等、地域の課題に応じた訓練をお願いします。

ウ. 防災会マニュアルの手直し加除について

一. 海蔵小学校改築が昨年12月末に完了しました。指定避難所としての体育館はもちろんのこと、運動場施設・北側の旧校舎・新校舎をどのように活用させてもらえるか施設管理者と協議し活用範囲を現状マニュアルに反映したいと考えています。

二. 消防ホース・屋外消火栓取扱要領（作成済み）をマニュアル簿冊に加えたい。また、設置場所・配置名称を記載した一覧表を作成します。

3. 年度末防災研修の実施

研修候補地は、未定ですが昨年同様に防災先進都市を見学したいと考えています。

（予算・規模＝まちづくり協議会（総合補助金28万円） 参加者1名につき5千円・大型バス2台×80名）

※ 上記のように地区住民の防災力、防災意識向上のため計画しましたが、現在の「新型コロナウイルス」感染防止には十分配慮しつつ事業をすすめてまいります。万一、第2波・第3波の猛威が来るようでしたら、まずは皆様の健康管理を最優先にして臨機に対応してください。